

平成28年度行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	都道府県警察施設整備費補助金 (交通安全施設)			担当部局庁	交通局			作成責任者	
事業開始年度	昭和41年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	交通規制課			交通規制課長 櫻澤 健一	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	・警察法第37条第3項、警察法施行令第3条第2項 ・交通安全施設等整備事業の推進に関する法律第3条第1項			関係する計画、 通知等	社会資本整備重点計画(第4次) 交通安全基本計画(第10次)				
主要政策・施策	交通安全対策			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	交通事故が多発するなど特に交通の安全を確保する必要がある道路について、国の補助金により交通安全施設等整備事業を推進することにより、これらの道路における交通環境の改善を行い、もって交通の安全を図り、平成32年度までに交通事故死者数を2,500人以下にするという政府目標の達成に寄与する。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	警察法に基づき、都道府県公安委員会が交通の安全と円滑を図るため実施する信号機、道路標識等の整備事業(交通安全施設等整備事業)に要する経費の一部を補助(10分の5)するものである。本補助事業は、交通安全施設等整備事業の推進に関する法律に基づき、交通事故が多発するなど特に交通の安全を確保する必要のある道路として国が指定した道路上において、社会資本整備重点計画に即して実施されるものである。								
実施方法	補助								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	17,535	17,871	17,308	15,978	16,404		
		前年度から繰越し	0	0	0	0			
		翌年度へ繰越し	2,565	75	40	25			
		予備費等	▲ 75	▲ 40	▲ 25				
		計	0	0	0	0			
	執行額	20,025	17,906	17,323	16,003	16,404			
	執行率 (%)	19,611	17,810	17,254					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 32 年度	
	①交通安全施設等の整備により抑止される死傷事故【H28年度末までに約3万5千件/年抑止】	信号機の高度化等により抑止されていると推計される死傷事故件数(千件/年)	成果実績 千件/年	14	23	28	-	-	
			目標値 千件/年	14	21	28	-	27	
			達成度 %	97	107	100	-	-	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 32 年度	
	②信号制御の高度化によるCO2の排出抑止【H28年度末までに約18万t-CO2/年を抑止】	信号制御の高度化により抑止されていると推計される二酸化炭素の排出量(t-CO2/年)	成果実績 千t-CO2	97	164	207	-	-	
			目標値 千t-CO2	72	108	144	-	100	
			達成度 %	135	151	144	-	-	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 32 年度	
	③信号制御の高度化による通過時間の短縮【H28年度末までに対策実施箇所において約9千万人時間/年短縮】	信号制御の高度化により短縮されていると推計される対策実施箇所の通過時間(千人・時間/年)	成果実績 百万人時間/年	49	82	103	-	-	
			目標値 百万人時間/年	36	54	72	-	50	
			達成度 %	136	152	143	-	-	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 32 年度	
	④主要な生活関連経路における信号機等のバリアフリー化率【約98%(H23年度末)→100%(H28年度末)】	重点整備地区内の主要な生活関連経路を構成する道路におけるバリアフリー化の割合(%)	成果実績 %	98	98	98.9	-	-	
			目標値 %	98.8	99.2	99.6	-	100	
			達成度 %	99	99	99	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載 <input type="checkbox"/> チェック									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	①信号灯器(車両用)のLED化等の各年度における事業量	活動実績	式	2,101	3,030	2,978	-		
		当初見込み	式	1,742	2,764	2,697	2,707		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	②信号機の集中制御化等の各年度における事業量	活動実績	基	1,966	2,004	1,844	-		
		当初見込み	基	1,955	1,986	1,805	1,855		

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込						
								活動実績	基	582	609	586	-
③信号機のプログラム多段系統化等の各年度における事業量			基	582	609	586	-						
								当初見込み	基	578	592	577	762
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込						
								活動実績	基	542	613	550	-
④視覚障害者用付加装置の整備等の各年度における事業量			基	542	613	550	-						
								当初見込み	基	531	612	510	536
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込						
								活動実績	基	-	-	6,219	-
⑤信号制御機の更新数			基	-	-	6,219	-						
								当初見込み	基	-	-	6,046	6,730
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込						
								単位当たりコスト	万円/基	130	120	120	120
								①信号灯器のLED化の 事業費/事業量	計算式	事業費/事業量	273,130万円/2,101基	363,600万円/3,030基	357,360万円/2,978基
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込						
								単位当たりコスト	万円/基	160	160	180	180
								②信号機の集中制御化の 事業費/事業量	計算式	事業費/事業量	314,500万円/1,966基	320,640万円/2,004基	331,920万円/1,844基
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込						
								単位当たりコスト	万円/基	120	110	120	120
								③信号機のプログラム多段系統化の 事業費/事業量	計算式	事業費/事業量	69,840万円/582基	60,990万円/609基	70,320万円/586基
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込						
								単位当たりコスト	万円/基	100	100	90	100
								④視覚障害者用付加装置の 事業費/事業量	計算式	事業費/事業量	54,200万円/542基	61,300万円/613基	49,500万円/550基

平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由	
				補助金	15,978
	計	15,978	16,404		

政策	IV. 安全かつ快適な交通の確保							
	施策	1. 歩行者・自転車利用者の安全確保						
測定制標		定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標
	-							年度
歩行中・自転車乗用中の交通事故死者数 ※実績値、目標値については、暦年による数値	実績値	人	2,193	2,038	2,106	-	-	-
	目標値	人	2,412	2,412	2,412	-	2,106	-
歩行中の高齢者(注1)の交通事故死者数 (注1) 65歳以上の者を指す。 ※実績値、目標値については、暦年による数値	実績値	人	1,121	1,063	1,070	-	-	-
	目標値	人	1,246	1,246	1,246	-	1,070	-
自転車関連事故(注2)件数 (注2) 自転車が第1当事者又は第2当事者となった交通事故件数 ※実績値、目標値については、暦年による数値	実績値	件	121,040	109,269	98,700	-	-	-
	目標値	件	151,683	151,683	151,683	-	98,700	-

政策評価

定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標		目標年度	
						-	年度	32	年度
歩行者と自転車との交通事故件数 ※実績値、目標値については、暦年による数値	実績値	件	2,605	2,551	2,506	-	-	-	-
	目標値	件	2,770	2,770	2,770	-	-	-	2,506
政策 IV. 安全かつ快適な交通の確保									
施策 2. 運転者対策の推進									
定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標		目標年度	
						-	年度	32	年度
70歳以上の高齢運転者による交通死亡事故件数 ※実績値、目標値については、暦年による数値	実績値	件	709	687	686	-	-	-	-
	目標値	件	694	694	694	-	-	-	686
政策 IV. 安全かつ快適な交通の確保									
施策 3. 道路交通環境の整備									
定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標		目標年度	
						-	年度	32	年度
①信号機の改良等により抑止されていると推計される死傷事故件数(目標年度については第4次社会資本整備重点計画(平成27年度～平成32年度)によるもの)	実績値	件/年	13,643	22,552	28,272	-	-	-	-
	目標値	件/年	14,000	21,000	28,000	-	-	-	27,000
定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標		目標年度	
						-	年度	32	年度
②事故危険箇所対策実施箇所における対策により抑止された死傷事故件数の割合(目標年度については第4次社会資本整備重点計画(平成27年度～平成32年度)によるもの)	実績値	割	効果測定中	効果測定中	効果測定中	-	-	-	-
	目標値	割	-	-	-	-	-	-	3
定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標		目標年度	
						-	年度	32	年度
③信号制御の改良により短縮されていると推計される対策実施箇所の通過時間(目標年度については第4次社会資本整備重点計画(平成27年度～平成32年度)によるもの)	実績値	千人・時間/年	48,565	81,706	103,336	-	-	-	-
	目標値	千人・時間/年	36,000	54,000	72,000	-	-	-	50,000
定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標		目標年度	
						-	年度	32	年度
④信号制御の改良により抑止されていると推計される二酸化炭素の排出量(目標年度については第4次社会資本整備重点計画(平成27年度～平成32年度)によるもの)	実績値	t-CO ₂ /年	97,404	163,618	207,204	-	-	-	-
	目標値	t-CO ₂ /年	72,000	108,000	144,000	-	-	-	100,000
定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標		目標年度	
						-	年度	32	年度
⑤重点整備地区内の主要な生活関連経路を構成する道路におけるバリアフリー化の割合(目標年度については第4次社会資本整備重点計画(平成27年度～平成32年度)によるもの)	実績値	%	97.8	98.2	98.9	-	-	-	-
	目標値	%	98.8	99.2	99.6	-	-	-	100
定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標		目標年度	
						-	年度	32	年度
⑥老朽化した信号機数	実績値	基	-	-	-	-	-	-	-
	目標値	基	-	-	-	-	-	-	60,000

測定指標

改革項目 （第一階層） KPI （第一階層）	分野:	社会資本整備等	地方公共団体による公共施設等総合管理計画の策定促進と、ストック適正化に向けた国の積極的な役割					
			KPI （第一階層）	単位	計画開始時		中間目標 - 年度	目標最終年度 32 年度
					27 年度	28年度		
個別施設（道路、公園など各施設）ごとの長寿命化計画 （個別施設計画）の策定率【目標：2020年度末までに100%】	成果実績	%	-	-	-	-		
	目標値	%	-	-	-	100		
	達成度	%	-	-	-	100		
事業所管部局による点検・改善								
国費投入の必要性	項目		評価	評価に関する説明				
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	いまだ多くの命が交通事故により失われており、交通の安全と円滑の確保に向けた取組の更なる強化が求められている。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	本事業は、一都道府県に居住する住民だけでなく、当該地域を通過するすべての道路利用者に影響を与えるものであることから、各都道府県に対して、国として一定の水準が確保されるよう必要な財源を補助する必要がある。				
事業の効率的性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	本事業は、国民が安心して社会生活を営むための基盤となる、交通の安全と円滑の確保を目的としており、優先度の高い事業である。				
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	都道府県からの申請に基づき交付決定をしている。都道府県における調達において、一般競争入札を行った結果、一者入札となったものはある。				
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約（企画競争）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		有					
	競争性のない随意契約となったものはないか。		有					
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	受益者は国民全体であるため妥当である。				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	毎年度実施の各都道府県に対する契約額調査に基づき、補助単価の見直しを行っている。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-					
費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	整備効果等を踏まえ補助対象事業等を事前に限定している。					
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-					
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	必要に応じて補助対象事業の標準構成の見直しなどを行っている。				
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	成果目標は、社会資本整備重点計画において設定されており、また、その達成度は年々向上している。				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	個々の事業の効果を客観的、体系的かつ定量的に評価することで、事業を重点的、効果的かつ効率的に推進している。				
関連事業	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	達成度は年々向上している。				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	車両運転者、歩行者等全ての道路利用者に活用されている。				
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		-					
	所管府省・部局名	事業番号	事業名					
点検・改善結果	点検結果	本事業については、毎年の交付申請や事業終了後の補助対象事業の実施状況報告等により、各都道府県ごとの事業の実施状況について点検しているところである。						
	改善の方向性	本事業の予算要求に当たっては、毎年単価等の見直しを行っており、引き続き実施する。						

外部有識者の所見

外部有識者点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

現状通り

おおむね具体的で十分な内容と認められる。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り

特になし。

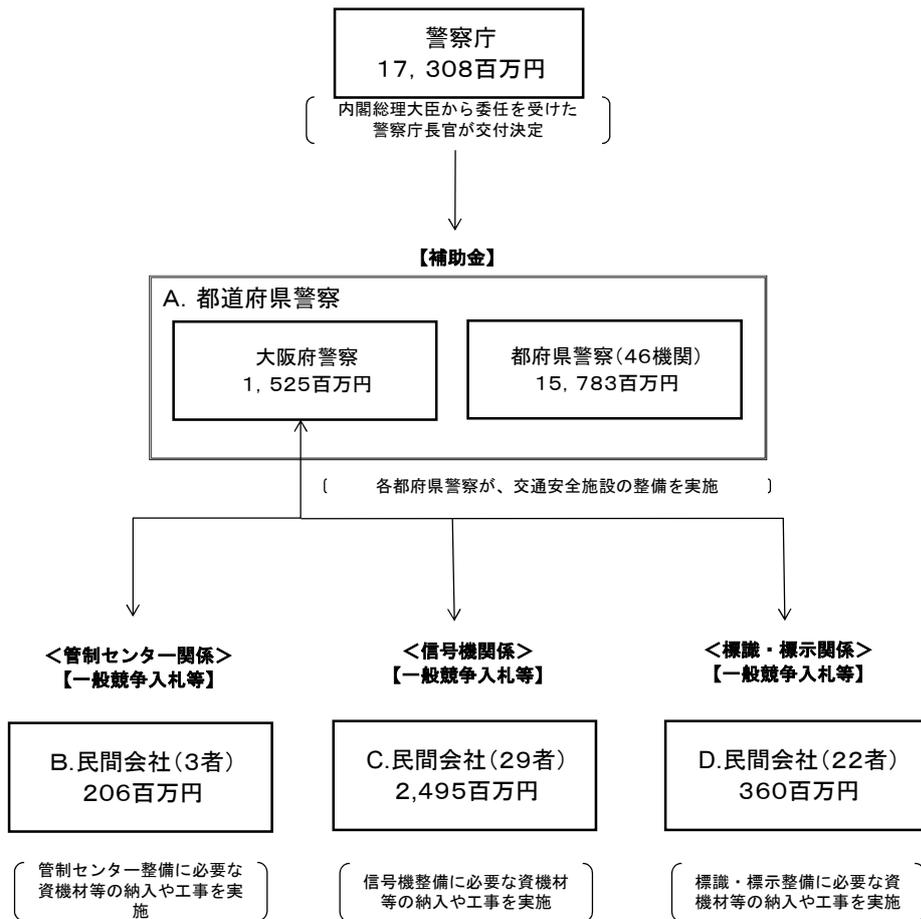
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	当初21	平成23年度	68	平成24年度	53	/
平成25年度	52	平成26年度	49	平成27年度	40	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

<平成27年度イメージ>



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて
補足する)
(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.大阪府警察			B.オムロンソーシアルソリューション(株)		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	補助金	交通安全施設等整備事業に関する経費 (「災害に備えた道路交通環境の整備」を除く)	1,525	施設整備費	交通管制センター関係	112
	計		1,525	計		112
	C.千里電気工業(株)			D.ユニオン興産(株)		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	施設整備費	信号機関係	264	施設整備費	標識・標示関係	31
	計		264	計		31

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	千里電気工業(株)	4120101003695	信号機改良工事	38	一般競争入札	19	--	
2	千里電気工業(株)	4120101003695	信号機改良工事	37	一般競争入札	19	--	
3	千里電気工業(株)	4120101003695	信号機改良工事 他7件	189	-	-	--	
4	遠藤電気工業(株)	8120001076029	信号機改良工事	36	一般競争入札	19	--	
5	遠藤電気工業(株)	8120001076029	信号機改良工事	31	一般競争入札	17	--	
6	遠藤電気工業(株)	8120001076029	信号機改良工事 他6件	140	-	-	--	
7	大阪システムサービス(株)	6120001050927	信号機改良工事	41	一般競争入札	20	--	
8	大阪システムサービス(株)	6120001050927	信号機改良工事	34	一般競争入札	17	--	
9	大阪システムサービス(株)	6120001050927	信号機改良工事 他3件	108	-	-	--	
10	日本信号(株)	9010001110631	信号機改良工事	27	一般競争入札	8	--	
11	日本信号(株)	9010001110631	信号機改良工事	25	一般競争入札	8	--	
12	日本信号(株)	9010001110631	信号機改良工事 他7件	127	-	-	--	
13	(株)コアテクノ	3120101029361	信号機改良工事	39	一般競争入札	16	--	
14	(株)コアテクノ	3120101029361	信号機改良工事	31	一般競争入札	17	--	
15	(株)コアテクノ	3120101029361	信号機改良工事 他3件	91	-	-	--	
16	昭和電機(株)	1120001027574	信号機改良工事	37	一般競争入札	17	--	
17	昭和電機(株)	1120001027574	信号機改良工事	28	一般競争入札	20	--	
18	昭和電機(株)	1120001027574	信号機改良工事 他2件	75	-	-	--	
19	オムロンソーシアルソリューション(株)	7010401090640	信号機改良工事	23	一般競争入札	7	--	
20	オムロンソーシアルソリューション(株)	7010401090640	信号機改良工事	21	一般競争入札	8	--	
21	オムロンソーシアルソリューション(株)	7010401090640	信号機改良工事 他6件	88	-	-	--	
22	三浦電気工事(株)	7120001040159	信号機改良工事	29	一般競争入札	17	--	
23	三浦電気工事(株)	7120001040159	信号機改良工事	26	一般競争入札	17	--	
24	三浦電気工事(株)	7120001040159	信号機改良工事 他2件	68	-	-	--	
25	三協高分子(株)	8180301018311	信号機改良工事	24	一般競争入札	8	--	
26	三協高分子(株)	8180301018311	信号機改良工事	21	一般競争入札	7	--	
27	三協高分子(株)	8180301018311	信号機改良工事 他5件	77	-	-	--	
28	コイト電工(株)	6080101015719	信号機改良工事	17	一般競争入札	8	--	
29	コイト電工(株)	6080101015719	信号機改良工事	16	一般競争入札	8	--	
30	コイト電工(株)	6080101015719	信号機改良工事 他7件	76	-	-	--	

